



開発した礼服とスーツ

平成 26 年 2 月 7 日 (金)
あいち産業科学技術総合センター
尾張繊維技術センター 素材開発室
担当 島上、池上、池口
電話 0586-45-7871
愛知県産業労働部産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤 (久)、山口
内線 3389、3388
ダイヤルイン 052-954-6347

車いすや補助杖で生活する子ども達のための 礼服・スーツを制作しました

—あいち産業科学技術総合センターが養護学校、繊維製品企業などと共同開発—

あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センターは、公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（以下、FDC）、県立一宮養護学校、株式会社ナイガイ（一宮市）及びササキセルム株式会社（一宮市）を中心とした繊維製品製造企業と共同で、車いすや補助杖で生活する子ども達に夢を与える服づくりに取り組んでいます。

服に関する子ども達の悩みの一つに、冠婚葬祭の礼服や就職の時に着用するスーツが、市販のものでは着替えにくかったり、見栄えが悪かったりすることが挙げられます。その声に応え、今年度はこれまでの福祉衣料作りのノウハウを生かし、車いすに座っていてもシルエットが美しく、着替えやすい女性用礼服を制作しました。

更に、数多くの福祉衣料製造の実績とノウハウを持つ、倉敷スクールタイガー縫製株式会社（岡山県、以下、倉敷 ST）とも連携し、メンズスーツ 2 点を共同制作しました。

これら本年度の成果品及び昨年度までに制作してきた福祉衣料を、平成 26 年 2 月 12 日（水）から 2 月 14 日（金）まで、一宮市総合体育館において開催される「11th JAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』」において展示・紹介します。是非ご来場ください。

1. 背景

車いすで生活する子どもたちは、一般に市販されている衣服では動きづらかったり、着替えるのが難しかったりすることが多く、自分が望む衣服を着ることができず寂しい思いをしています。一方、福祉衣料の制作には、それぞれの人の特性に適した多くの工夫が必要であり、高い技術力が要求されます。

尾張繊維技術センターは、平成 20 年度より、FDC、県立一宮養護学校、地元企業と共

同で、車いすで生活する小学生から高校生までの子ども達の希望を叶えようと福祉衣料の開発に取り組んできました。県立一宮養護学校の生徒の希望から開発内容を決定し、身体の動きに合わせた衣服のデザインや素材の検討を行い、着やすい・着せやすい工夫や、車いすに座った状態でもシルエットが美しくなる工夫を重ねて開発を行っています。

これまでに、平成 21 年度にはレディーススーツ*1、平成 22 年度にはジャケット・パンツ*2、平成 23 年度にはメンズコート*3、平成 24 年度にはレディースコート*4 を制作しました。今年度は、冠婚葬祭の際に着用する礼服と、就職の時に着用するスーツの開発に取り組みました。

2. 開発内容

2-1. 女性用礼服

この春卒業を迎える女子高校生をモデルとして、動きやすく着替えやすい、シルエットの美しい礼服を制作しました（写真 1）。この服には、これまでに蓄積されたアイデアやノウハウが凝縮されています。

座った時にシルエットが美しくなるように、ジャケットの着丈が短くなっています。また、長時間座っていても腰回りがずり落ちないように股上を深くし、ゴムを入れています。

更に、転倒防止ベルトが服の中に通せるように、肩にスリット（写真 2）、わきにファスナーをつけてあり、ベルトをしていても見た目がすっきりとしています。このファスナーは着替えやすさの面でも役立っています。

2-2. メンズスーツ

（株）ナイガイ及びササキセルム（株）に加えて倉敷 ST とも連携し、一宮市を中心とする尾州地域が得意としているスーツ生地を使い、男子高校生 2 名のスーツを共同制作しました（写真 3）。

クラッチ*5（補助杖）を使って歩く男子高校生向けに制作したスーツでは、クラッチのカフで袖が擦れてしまうのを防ぐため、袖を開くようにしました。また、パンツは履きやすいように、裾が開くように工夫しました。

車いすを利用する男子高校生向けに制作したスーツにおいては、車いすをこぐ時に窮屈にならないように、背



写真 1 礼服の開発風景



写真 2 肩のスリット



写真 3 スーツの開発風景



写真 4 背中のタック

中部分にタックを入れました（写真4）。これによりスーツを着ていても車いすがこぎやすくなりました。このタックの位置も工夫し、見栄えが良くなっています。他に、袖にファスナーをつけ、袖を通しやすくする工夫もしています。

倉敷STはジーンズの産地である岡山県で主にパンツの製造を行うとともに、福祉衣料、特にスーツやパンツの制作にも携わり商品化もしています。このように、福祉衣料の制作に携わっている人は全国にいますが、制作者同士の交流は活発とはいえないのが現状です。他地域の制作者とノウハウを共有することは、より着やすく、見栄えの良い衣服を作る上で重要です。今回の共同制作はその第一歩となると考えています。

2-3. 過去の成果品の改良

これまで制作してきた福祉衣料は個人に合わせて1着ずつ制作したフルオーダー^{*6}の衣服であり、手間や価格の面で問題がありました。より多くの子ども達に福祉衣料を提供するためには、見た目の良さや着心地をなるべく損なわずに、イージーオーダー^{*6}にするなどして価格を下げる必要があります。今年度は、過去の成果品を数人に着てもらい、型紙や縫い方の修正方法を検討し、その課題解決への第一歩を踏み出しました。



写真5 レインケープ

また、昨年度開発したレインケープ（写真5）のリニューアルも行いました。ポリプロピレン^{*7}を使用した先染め生地に防水透湿フィルムを貼りあわせた生地を使用し、より軽くなりました。

展示会では、これらの試作品も、過去の成果品と合わせて展示します。

3. 展示会概要（平成26年1月30日 発表済み）

- (1) 名称 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター 研究試作展
福祉衣料コーナー（「11th JAPAN YARN FAIR & 総合展『THE 尾州』」内）
- (2) 日時 平成26年2月12日（水）から14日（金）まで
午前10時から午後5時まで
- (3) 場所 一宮市総合体育館（一宮市光明寺字白山前20、電話：0586-53-6300）
- (4) 入場料 無料

4. 問い合わせ先

<総合窓口>

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

担当 島上、池上、池口

所在地 一宮市大和町馬引字宮浦 35

電話 0586-45-7871 FAX 0586-45-0509

<共同制作機関>

愛知県立一宮養護学校

担 当 教頭 ^{さかい かずゆき} 堺 和之

所在地 一宮市杉山字氏神廻 1 番地

電 話 0586-51-2221 FAX 0586-78-8703

公益財団法人 一宮地場産業ファッションデザインセンター

担 当 事務局長 ^{やまだ かつひろ} 山田 克博

所在地 一宮市大和町馬引字南正亀 4-1

電 話 0586-46-1361 FAX 0586-44-7455

<共同制作企業>

株式会社ナイガイ

代 表 代表取締役 ^{さえき たつや} 佐伯 達也

所在地 一宮市時之島字新田東 43

電 話 0586-51-3466 FAX 0586-51-3465

ササキセルム株式会社

代 表 代表取締役社長 ^{さ さ き ひさなお} 佐々木 久直

所在地 一宮市せんい 2-9-16

電 話 0586-77-4338 FAX 0586-76-6926

倉敷スクールタイガー縫製株式会社

代 表 代表取締役 ^{よしい かずなり} 吉井 一成

所在地 岡山県倉敷市玉島勇崎 1097-17

電 話 086-528-0130 FAX 086-528-2987

【用語解説及び参考】

*1 レディーススーツ

ウール 100%織物を使って、随所に設けたフックやファスナー、座った状態で胸元や膝元がはだけないデザインにより、ひとりでも着やすいスーツを開発しました。

*2 ジャケット・パンツ

伸縮性に富んだ綿 100%のデニム生地(ジーンズなどに使われる厚手の織物)を使って、フックやファスナーの設置、姿勢維持のための車椅子の固定ベルトを隠すようなデザインにより、着脱が容易ながらシルエットの美しい服を開発しました。

*3 メンズコート

体の可動域を考慮し、背中部分を大胆に開いたデザインや、袖にファスナーを設けることにより、着脱が容易でシルエットの美しいコートを開発しました。生地自体への抗菌・消臭加工に加え、特に汚れやすい襟や袖口は取り外して洗濯が可能となっています。

*4 レディースコート

車いすがこぎやすいように肩から袖にかけて伸縮性の高い素材を組み合わせ、脇にファスナーを付けて車いすがこぎやすくて、歩行する時の補助杖で立ってもすっきりとしたかわいいレディースコートを開発しました。



昨年度までの成果品 (左からレディーススーツ、ジャケット・パンツ、メンズコート、レディースコート)

*5 クラッチ

歩行補助杖のひとつ。握力が弱い人でも使用できるように、握りの部分と前腕を支持するカフ（腕を支えるわっか）で構成されています。



クラッチ

カフ

*6 フルオーダー、イージーオーダー

注文者に合わせて制作する衣服のうち、個人に合わせて専用の型紙から新たに制作するものをフルオーダー、既存の型紙で制作したものを個人に合わせて補正するものをイージーオーダーと呼びます。

*7 ポリプロピレン

ポリプロピレンは他の繊維に比べて比重が小さく、軽いのが特徴です。これまでは酸化発熱の問題があり、木綿など可燃性繊維との併用ができないという問題がありました。ここで使用したポリプロピレン繊維はそのような心配がないように改良しています。